

第27回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会 アンケート集計結果

開催日時：令和4年6月27日（月）

回答人数28人

	医師	看護師	薬剤師	栄養士	PT
1.あなたの職種について教えてください	0	23	0	0	1
	OT	ST	MSW	ケアマネージャー	訪問看護師
	0	0	0	0	0
	介護福祉士	その他			
	0	4			
2.現在の職業に就いてからの経験年数は何年ですか？	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	
	8	5	3	12	
3.通常の勤務で、緩和ケアに関わることがありますか？	はい	いいえ	無記入		
	23	4	1		
4.今回は複数の施設が関わった事例について検討を行いました。この検討会は地域間での連携を図る上で有効であったと思いますか？	大変有効である	有効である	あまり有効ではない	有効ではない	無記入
	23	4	0	0	1
5.この検討会は、各施設で行われている緩和ケアについて理解するのに役立ちましたか？	大変役に立つ	役に立つ	あまり役にたかない	役に立たない	
	23	5	0	0	
6.検討会の時間は、いかがでしたか？	適当	長い	短い	無記入	
	27	0	0	1	
7.今後、検討会を継続して行う予定ですが、参加を希望されますか？	参加したい	時間があれば参加したい	参加したくない	無記入	
	11	16	0	1	
8.検討会の頻度は、どの程度が適当と思われますか？	年に1回	年に2回	年に3回	年に4回	
	3	16	7	2	

9.検討会で取り上げて欲しいテーマについて教えてください

- ・両立支援について
- ・ACPIに関わること
- ・意志決定支援について、関り方
- ・「会話」「情報提供」が今回のキーワードだったと思う。この2つに大きな障害がある聴覚障害のある患者さんの事例があればテーマにあげてください。

10.その他に感想やご意見がございましたらお願いいたします

- ・患者や家族に関する深い話を聞くには、聞く側も聞き出す意図目的を明確にして、聞く技術がないと難しいと思いました。
- ・患者様にとって声を失うということがどれ程絶望的なことであるのかを感じ、自身の声を残せるコエステーションは希望にもなることがよく理解でき、今後そのような患者様への理解へつながるとよいと思いました。
- ・多職種が患者に関わる重要性とともに看護師の役割として一番患者に近く、何でも知っていることが重要。改めて、そのような看護師の育成に努めたいと思いました。ありがとうございました。
- ・コエステーションで自身の声を残すことで、他者とのコミュニケーション方法が増えると思いました。もっと多くの方にコエステーションを知ってもらいたいです。“声を残す”はとても素敵だなと思いました。
- ・声を残すことができるという技術があることを初めて知る良い機会になりました。